町道斜面における対策（支障木伐採）の優先順位検討業務　特記仕様書

１目的

那賀町が管理する道路では、道路斜面にある樹木が異常気象等により倒れること（倒木）で集落の孤立や通信遮断が起こる危険性が認められる。

本業務は、町が管理する道路斜面を含めた道路エリアについて評価項目ごとに加点を行い、箇所（道路延長エリア）ごとに評価点を算出し優先度順位付けを行う。さらにモデル地区を設定し除去すべき支障木伐採の範囲を決定する。

２業務の内容

（１）　伐採優先度評価

①　資料収集

道路台帳、地形図（航空レーザー測量）、地籍調査図等を収集する。

②　優先度評価

評価項目ごとに加点を行い、箇所（道路延長エリア）ごとに点数評価を行い、優先度ⅠⅡⅢの３ブロックに分ける。

（２）　伐採範囲調査

①　現地踏査

評価点が高い箇所の中からモデル地区を選定し、現場踏査確認を行う。

②　伐採区域の決定

現場踏査に加えＵＡＶによる写真撮影を行い、伐採区域の範囲設定を行う。

③　報告書作成

資料収集整理結果、優先度評価結果、モデル地区の伐採範囲設定結果をまとめる。

（３）　支障木伐採計画

今後の支障木伐採計画等の提案を行う。